

**第2学年 器械・器具を使つての運動遊び
(マットを使った運動遊び)**







1 単元構想

単元名	器械・器具を使つての運動遊び（マットを使った運動遊び）		
単元の目標	<p>(1) マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向に転がったり、手で支えての体の保持や回転をしたりして遊ぶことができるようにする。</p> <p>(2) マットを使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。</p> <p>(3) マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<p>①マットを使った運動遊びの行い方について話したり、実際に動いてみたりしている。</p> <p>②マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がって遊ぶことができる。</p> <p>③手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりにするなどして遊ぶことができる。</p>	<p>①坂道のジグザグなどの複数のコースでいろいろな方向に転がることのできるような場を選んでいる。</p> <p>②腕で支えながら移動したり、逆さまになったりする動きを選んでいる。</p> <p>③友達のよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書き出したりしている。</p>	<p>①動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなどの運動遊びに進んで取り組もうとしている。</p> <p>②順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動遊びをしようとしている。</p> <p>③場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。</p> <p>④場の安全に気を付けている。</p>
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
<p>マットを使ったいろいろな転がり方や跳び方、体の保持の仕方といった運動遊びの楽しさを感じ、その他の運動遊びに生かしたり、進んで運動遊びに取り組んだりする児童。</p>			
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方		
<p>様々な「マットランド」でいろいろな転がり方などをして楽しもう。</p>	<p>マットを使ったいろいろな転がり方等を「する」、友達の動きを「見る」、友達と協力したりして「支える」、転がり方等を「知る」といった運動遊びとの多様な関わり方で楽しむこと。</p>		

指導計画と評価計画（6時間取扱い 本時2／6）

過程	時間	学習内容・学習活動
一	1	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 場の安全に気を付けてマットを使った運動遊びに取り組むこと。（態④） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の確認 ・安全の約束の確認 ・場の準備や片付けの仕方の確認
二	3	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マットを使った運動遊びの行い方について話したり、動いてみたりすること。（知①） ○ 場の準備や片付けを友達と一緒にやること。（態③） ○ マットに背中や腹などをつけていろいろな方向に転がって遊ぶこと。（知②） ○ 友達のよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書き出したりすること。（思③） ○ 手や背中で支えて逆立ちをしたり、体を反らせたりするなどして遊ぶこと。（知③） ○ 動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなどの運動遊びに進んで取り組むこと。（態①） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感覚づくりの運動遊びを楽しむ。 <p>ころころランド（※本時の学習例記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前転がり、後転がり、だるま転がり、丸太転がりをして楽しむ。 ・転がり方を組み合わせる。 <p>ぴよんぴよんランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腕支持での川遊び、腕支持での平均台跳びをして楽しむ。 ・腕立て横跳び越しをして楽しむ。 <p>さかさまランド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱や助木を使った運動遊びをして楽しむ。 ・さかさまからのブリッジをして楽しむ。
三	2	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 坂道のジグザグなどの複数のコースでいろいろな方向に転がることのできるような場を選ぶこと。（思①） ○ 順番やきまりを守り誰とでも仲良く運動遊びをしようとしている。（態②） ○ いろいろな方向に転がったり、手などで体を支えて、保持したり移動したりして遊ぶこと。（知②③） ○ 腕で支えながら移動したり、逆さまになったりする動きを選んでいる。（思②） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なマットランドで楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループでマットランドの場を作って楽しむ。 ・作ったランドをグループ同士で紹介して楽しむ。 ・他のグループが作ったランドで楽しむ。 ・もっと楽しいランドになるよう工夫する。 ・動きのバリエーションを楽しむ。

※表記上の「知」…知識・技能,「思」…思考・判断・表現,「態」…主体的に学習に取り組む態度

時間	指導のポイント	評価の観点等 ★…記録に残す評価の場面で 「具体の評価規準」
1	<p>○ オリエンテーション</p> <p>安全の約束や、場の準備・片付けについて、児童がいつでも確認できるように掲示しておきましょう。</p> 	<p>【態④】（観察）</p>
2	<p>○ 感覚づくりの運動遊び</p> <p>ころころランド</p> <p>いろんな転がり方を工夫したり、マットの形を変えたりすると、さらに楽しんで遊ぶことができることを児童同士で確認ができるようにしましょう。</p> 	<p>★【知①】（観察）</p> <p>○ いろいろな転がり方について話したり、実際に動いてみたりしている。</p> <p>【態③】（観察）</p>
3	<p>○ 感覚づくりの運動遊び</p> <p>ぴよんぴよんランド</p> <p>児童が楽しく活動できるように、跳び越える場所に、障がい物を置いたり、手や足の移動先に目印をつけたりして場の工夫をしましょう。</p> 	<p>【知②】（観察）</p> <p>★【思③】（観察・学習カード）</p> <p>○ 友達のよい跳び方等を見付けたり、自分で考えた跳び方を伝えたりしている。</p>
4	<p>○ 感覚づくりの運動遊び</p> <p>さかさまランド</p> <p>児童の実態に応じて、できるだけ負荷が少ない易しい動きから進めていきましょう。</p> 	<p>【知③】（観察）</p> <p>★【態①】（観察）</p> <p>○ 友達や動物の真似をして、跳んだり体を移動させたりする運動遊びに進んで取り組もうとしている。</p>
5	<p>○ 様々なマットランドで楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでマットランドの場を作って ・作ったランドをグループ同士で紹介して ・他のグループが作ったランドで <p>児童が自分たちで実際に動きながら、どんな場を作ると、どういう動きができるか伝え合う時間を設定しましょう。</p> 	<p>【思①】（観察・学習カード）</p> <p>【態②】（観察）</p>
6	<p>○ 様々なマットランドで楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと楽しいランドになるような工夫 ・動きのバリエーション <p>同じ場でも、いろいろな動き方ができることを伝えたり、動き方を工夫している児童を紹介したりしましょう。</p> 	<p>★【知②または③】（観察）</p> <p>○ いろいろな方向に転がったり、手などで体を支えて、保持したり移動したりして遊ぶことができる。</p> <p>【思②】（観察・学習カード）</p>

2 単元における系統等

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)		
小学校学習指導要領第1学年及び第2学年 [知識及び技能] イ マットを使った運動遊びの楽しさに触れ, その行い方を知るとともに, いろいろな方向への転がり, 手で支えての体の保持や回転をする動きを身に付けること。 [思考力, 判断力, 表現力等] ア マットを使った運動遊びの簡単な遊び方を選ぶこと。 イ 友達のよい動きを見付けたり, 考えたりしたことを友達に伝えること。 [学びに向かう力, 人間性等] 運動遊びに進んで取り組み, 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり, 場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。		
運動の価値		
器械・器具を使った運動遊び(マットを使った運動遊び)では, 主に「回転」, 「支持」等の動きで構成され, 様々な動きに取り組んだり, 自己の能力に適した動きに挑戦したりして動きを身に付けたときに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。		
本単元における系統		
(※下記の動きや技能を習得する過程で, 児童の実態に応じて運動の特性に触れ, 楽しさや喜びを味わわせる。)		
【第1学年及び第2学年】 器械・器具を使った運動遊び (ア 固定施設を使った運動遊び) ○ジャングルジム・雲梯・登り棒・肋木・平均台などを使った, いろいろな登り下り, ぶら下がり, 懸垂移行, 渡り歩き, 跳び下り, 逆さの姿勢など	【第1学年及び第2学年】 器械・器具を使った運動遊び (イ マットを使った運動遊び) ○ゆりかご, 前転がり, 後ろ転がり, だるま転がり, 丸太転がりなどマットに背中や腹をつけて揺れたり, いろいろな方向に転がったりすることなど ○背支持倒立(首倒立), うさぎ跳び, かえるの足打ち, かえるの逆立ち, 壁登り逆立ち, 支持での川跳び, 腕立て横跳び越し, ブリッジなど	【第1学年及び第2学年】 器械・器具を使った運動遊び (ウ 鉄棒を使った運動遊び) ○ふとん干し, こうもり, さる, ぶたの丸焼きなどぶら下がったり揺れたりすること ○ツバメなど体を伸ばし手で支えバランスをとって止まること。 ○跳び上がりや跳び下り, 易しい回転など (エ 跳び箱を使った運動遊び) ○踏み越し跳び, 支持でまたぎ乗りやまたぎ下り, 支持で跳び乗りや跳び下り, 馬跳び, タイや跳びなど
【第3学年及び第4学年】 器械運動(ア マット運動) ○回転系の技…前転, 易しい場での開脚前転, 後転, 開脚後転(発展技:伸膝後転), 補助倒立ブリッジ(発展技:倒立ブリッジ), 側方倒立回転(発展技:ロンダード), 首はね起き(発展技:頭はね起き) ○巧技系の技…壁倒立(発展技:補助倒立), 頭倒立 ○いろいろな技を繰り返したり組み合わせたりするなど		
【第5学年及び第6学年】 器械運動(ア マット運動) ○回転系の技…開脚前転(更なる発展技:易しい場での伸膝前転), 補助倒立前転(更なる発展技:倒立前転, 跳び前転), 伸膝後転(更なる発展技:後転倒立), 倒立ブリッジ(更なる発展技:前方倒立回転, 前方倒立回転跳び), ロンダード, 頭はね起き ○巧技系の技…補助倒立(更なる発展技:倒立) ○技の組み合わせ…既のできる技にバランスやジャンプなどを加えて組み合わせる, ペアやグループで動きを組み合わせるなど		

3 指導に当たっての留意点

- 「◇◇◇ランド」のネーミング等, 児童が興味をもつような様々な場を設定し, いろいろな転がり方で, いろいろな方向に転がって遊ぶことができるようにする。

この「びよんびよんランド」とっても楽しいそう！早くやってみたいな。



- 手で体を支える経験が少ない児童がいる場合は, 平均台や跳び箱などを活用し, 少ない力で体の支持ができるような活動を取り入れるようにする。
- 授業の途中や振り返りの場面で, よい動きをしていた友達を紹介する時間を設けるようにする。

〇〇君の動き方は, とってもおもしろいな。今度ぼくたちがつくった「□□ランド」でもやってみよう！



- 学習したことについて, 休み時間や家庭でもできる運動遊び等について取り上げ, 日常的な運動遊びの機会を増やすようにする。



今日やってみた転がり方は, 家のふとんの上でもできそうだよ。家の人と一緒にやってみよう！

<運動が苦手な児童や意欲的でない児童等への配慮の例>

- 前や後ろへ転がることが苦手な児童には, 体を丸めて揺れるゆりかごに取り組みんだり, 傾斜のある場で勢いよく転がるように取り組みたりして, 転がるための体の動かし方が身に付くように練習の仕方や場を設定するなどの配慮をする。

この動きやこの場ならできそうだよ。やってみるととっても楽しい！



- いろいろな方向に転がって遊ぶことは概ねできているものの, 手で支えて体を保持したり回転させたりして遊ぶことについて苦手な児童に対しては, いろいろな場や教具等を活用して, 易しい運動の仕方から多くの経験を重ねていくようにする。
- 安全に気を付け, きまりを守って運動遊びに取り組むことが十分ではない児童に対しては, 授業の導入時に, 安全な器械・器具の使い方や約束事について児童と確認し合う学習の時間設定するようにする。



あつ。あそこのマットがずれていて危ないな！みんなで安全な活動について約束したんだっ。ずれを直しに行こう！





- 自分のやりたい運動遊びを選んだり, 友達と協力しながら進んで運動遊びに取り組んだりするなど, 主体的な姿がある一方で, 友達のよい動きを見付けたり, 考えたことを伝えたりすることについて苦手と感じている児童に対しては, 対話や交流の場面を多く設定し, 自分の考えが相手に伝わった喜び等を実感させる学習に取り組ませるようにする。

4 本時の学習例

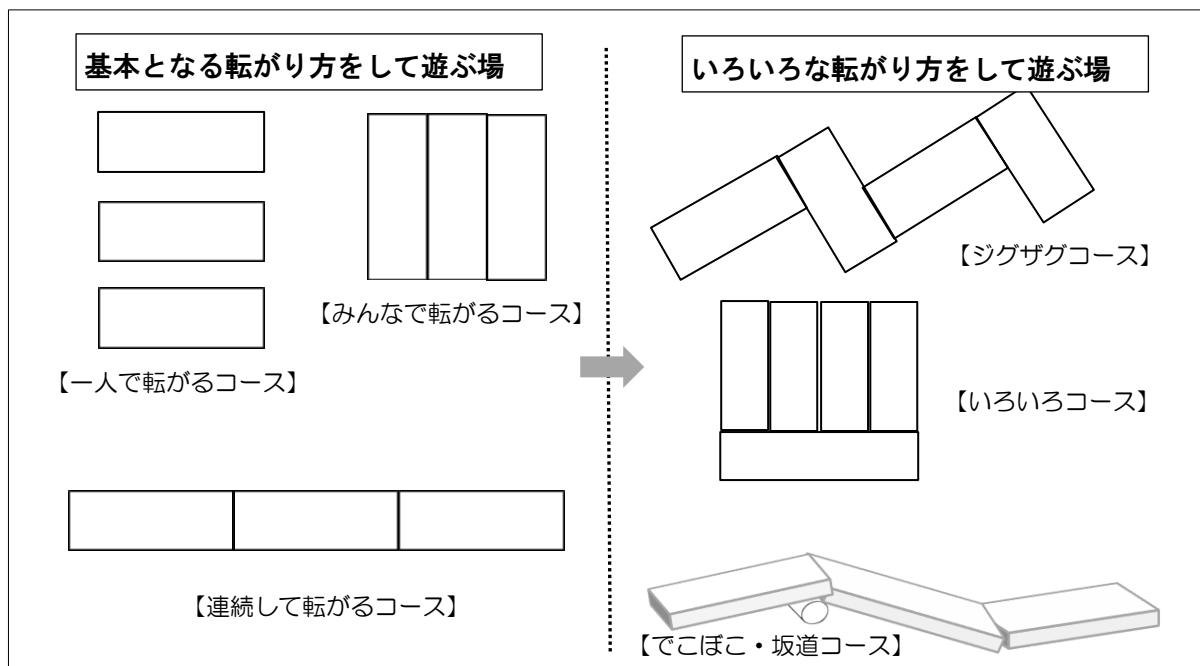
(1) 目標 ころころランドでいろいろな転がり方をして楽しむことができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>① 場の準備をする。 ◇ マットのみみをきちんと入れよう。</p> <p>② 感覚づくりの運動遊びをする。 ◇ 犬歩きや馬歩き,しゃくとりむし,かえるの足うち,ゆりかご,ブリッジに挑戦しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【めあて】 ころころランドでいろいろな転がり方をして楽しもう</p> </div> <p>③ いろいろな転がり方で楽しむことについて問いを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習課題】 ころころランドの場では,どんな転がり方をして遊ぶことができるのだろう。</p> </div>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>① 基本となる転がり方をして遊ぶ。 ◇ 前転がり,後ろ転がり,だるま転がり,丸太転がりはこのように転がるんだな。</p> <p>② 工夫した転がり方をして遊ぶ。 ◇ 忍者転がりや手つなぎ転がりができるし,僕は「～～転がり」を考えたよ。</p> <p>③ マットの形などを変えて遊ぶ。 ◇ 坂道マット,ジグザグマット,でこぼこマットが楽しいな。</p> <p>④ どんな転がり方ができたか紹介する。 ◇ ～～さんは手をついた前転がりと,手をつかない前転がりをしていたよ。</p> <p>⑤ いろんな転がり方をして更に楽しむ ◇ 友達の転がり方を組み合わせて回ってみたよ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待される学びの姿】 自分なりに転がり方を工夫してみたり,マットの形を変えたりしながら,いろいろな遊び方を考えて活動している。</p> </div>
終末	10分	<p>3 めあてに対する振り返りをする。</p> <p>① 今日の学習を振り返る ◇ 今日の「キラリさん」は～～君です。ジグザグマットでの忍者転がりを,速い動きでやっていて,すごいと思いました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【まとめ】ころころランドでは,いろいろな転がり方を工夫したり,マットの形を変えたりして楽しむことができるということがわかった。</p> </div> <p>② 場の片づけをする。 ◇ 4人組でマットを運ぼう。</p>

過程	時間	<p style="text-align: center;">指導上の留意事項</p> <p style="text-align: center;">(学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)</p>
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場の安全に留意させながら場の準備を行う。 ○ BGMを流しながら, 一つ一つの動きを丁寧に行うようにする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ウマ歩き</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>かえるの足打ち</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ こころろランドの場を見て, どんな転がり方をして遊ぶことができそうなのかを問う。 ○ いろんな転がり方を工夫したり, マットの形を変えたりすると, さらに楽しんで遊ぶことができるか児童同士で確認する。
展開	30分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本となる転がり方を紹介し, 一人ずつ順番に行わせる。 ○ いろいろな児童からのアイデアを拾いながら, 転がり方のバリエーションを広げるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○○さんの転がり方がすごく面白いね。みんなもまねしてやってみよう。もっと面白い転がり方があるかもしれないね。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の「楽しそう」「やりたい」を引き出し, 場のマットの位置を変えたり, 踏切板やボールなどを用いて傾斜や起伏を付けたりする。 ○ 工夫した転がり方で楽しむために, 友達の楽しい転がり方を紹介しあえるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体の評価規準】知①</p> <p>○ いろいろな転がり方について言ったり, 実際に動いてみたりしている。</p> <p style="text-align: center;">(方法: 観察, 学習カード)</p> </div> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の転がり方を真似しながら, 転がり方のバリエーションが広がるように寄り添いながら指導する。
終末	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習カードをもとに振り返りを行う。 ○ 友達のよい動きや, よい言動を認め合えるような言葉かけをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□□さんのよい動きについて, よく気づいて発表してくれましたね。みなさんも次の時間に, いろんなよい動きができるように挑戦してみましょう。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と協力して安全に片付けるようにする。

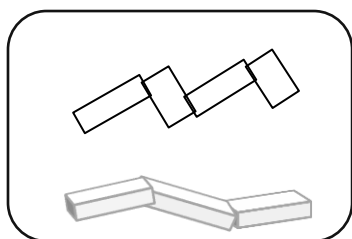
5 場の設定(例)



6 ICT活用計画

電子黒板による場の設定や練習方法、技のポイントなどの提示

例：電子黒板で、いろいろな場の作り方の写真や、いろいろな転がり方の動画等を提示し、課題に迫る動きや遊ぶ場のイメージを共有する。



【こんなコースを作ってみよう】



【友達の転がり方をまねしてみよう】

他の友達の楽しい転がり方を紹介したり、その他の映像資料等から参考になる転がり方を紹介したりする。

※ 各コースには、動画撮影用のタブレット端末を設置し、児童が転がって遊ぶ様子について「常時録画→15秒後に自動再生」モード等を利用し、自分の動きをその場ですぐに確認できるようにする。

7 見方・考え方を働かせて、終末や次時以降の学習に生かす計画

見方・考え方を働かせ、単元の終末で次の学習に取り組んだり、次時以降の学習に生かしたりする。

例1：学習成果発表会、児童集会、学年集会等で自分たちが考えたマットを使った運動遊びについて発表する。

例2：手で体を支持しながら平均台や跳び箱を跳び越えた運動感覚を生かし、「C 走・跳の運動遊び（イ跳の運動遊び）」の動きに取り入れる。

例3：いろいろな転がり方について経験した運動感覚を生かし、「Eゲーム（イ鬼遊び）」において、いろいろなマットの場を作ったり、転がりながら追いかけてたり逃げたりするルールを決めたりして遊ぶ。